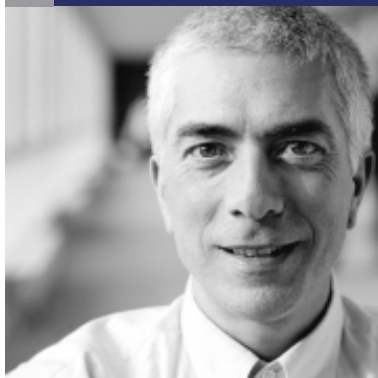


SAP 成功事例



Statoil ASAは、原油の販売では世界でも最大規模の企業であり、ガソリンおよび石油関連製品の販売で北欧最大手になります。世界20ヶ国以上に事業を展開しており、ヨーロッパへの天然ガス供給最大手の1つでもあります。

Statoilは、資金管理および財務機能を集中化し、経営陣が重要な財務取引を実行し、タイムリーな意思決定を行うための手段として、**SAP®** コーポレート・ファイナンス・マネジメントを選択しました。

STATOIL

グローバルな財務業務の最適化

Statoilが導入したSAP コーポレート・ファイナンス・マネジメント (SAP CFM) の機能は、mySAP™ Financial Service Providerの中核機能であり、グローバルな財務運営の管理とタイムリーな意思決定を支援します。同社はまず、インハウスキャッシュ、財務管理、および市場リスク管理といった、企業財務の核となる機能から導入しました。インハウスキャッシュによって、Statoilは、データの集中化と、会社間支払処理の管理効率の向上を実現しました。また、企業間での支払処理も合理化されたため、グループ全体のキャッシュを伴う資金移動を減らし、資金決済を最適化することが出来ました。これについて、グループ財務部長のKjell Fuglestad氏は次のように述べています。



「私たちは現在、一元化、集中化されたシェアドサービスセンタで、これらの業務を実行しています。インハウスキャッシュ管理は、スピード、自動化、経費全ての点でこれまでよりも優れた社内銀行の役割を果たし、コスト削減を実現しました。さらに、各国で取引をする外部銀行の数と、外部銀行との間で維持しているインタフェースも削減できました。これにより、多額のコストを節減することができました」

また、投資資金の回収も短期間で実現することができました。

「当社では、年間で節減されるコストを約350万ドル、プロジェクトの投資回収期間を1年半と見込んでいます」
(Kjell Fuglestad氏)

資金管理の集中化

Statoilは、ノルウェーおよびニューヨークの証券取引所に上場している株式公開企業で、筆頭株主はノルウェー政府です。2001年の売上高は263億ドルで、従業員は16,500人を超えます。同社は北欧最大の石油およびガスのリテラーで、ノルウェー、デンマーク、およびオランダに精油所を保有しています。同社は、世界最大の原油販売会社であり、ヨーロッパのガス市場においても重要な位置を占めています。

インハウスキャッシュ、財務/資金管理、および市場リスク管理の導入は、財務/資金管理のプロセスを改良しようとする同社の継続的な努力の延長線上にありました。

同社の社内銀行責任者である Piet Lammens 氏は次のように述べています。「SAP プラットフォームを導入する前にも、資金管理、財務管理の一元化に向けて当社の財務管理業務は大きく動き出してはいました

が、そのプロセスはおのずから限界がありました。すべてのキャッシュフローを一元的に把握できないことや、すべての財務・資金決済業務を統合する標準のプラットフォームがないといった問題があったのです。

同社は、資金の決済に地元銀行数行を利用しており、各行に会社の資金が分散していました。資金決済に複数の地元銀行を使用していたため、資金を運用、使用する際、まず資金移動が必要となりました。また、各国の事業会社が国際市場において正反対のポジションを持つという事態が発生することもありました。ドルのポジションに余剰がある事業会社がある一方で、別の国の事業会社ではドルが不足し調達するという場合です。彼らは個別に市場に参加し、そこで正反対の取引を行っていたのです」
(Piet Lammens氏)

「私たちは現在、集中化された単一の共通サービスセンタで、これらの業務を実行しています。さらに、当社が口座を保持している各国の外部銀行の数と、外部銀行との間で維持しているインタフェースも減らしました。これにより、多額の経費を節減することができました」

Statoil グループ会計担当 Kjell Fuglestad 氏

Statoil社は、完全に統合されたソリューションによりこうしたビジネス上の課題を克服しました。

Piet Lammens氏は、次のように語っています「SAP CFMにより、当社は財務/資金管理のビジョン、つまり銀行業務、資金調達、資金決済業務のワンストップシヨップを実現することができました。

SAPのプラットフォームはリアルタイムの資金管理と資金予測、財務管理と会計処理、社内銀行による口座管理、集中資金決済を統合するという他に類を見ない能力を備えています。この機能は、従来の、スタンドアロンの財務/資金管理ソリューションでは到底実現し得ないものです。当社はすでに、Statoilグループ全体の共通 ERP プラットフォームとしてSAPを選択していました。今後のために、最先端の財務/資金管理プラットフォームとしてCFMを選択することは、自然な流れでした」

その決定が正しかったことはコストの削減という形で証明されています。

「CFMのインハウスキャッシュ管理機能は、当社の社内銀行業務の基幹となっていますが、その柔軟性を高く評価しています。インハウスキャッシュ管理により、グループ全体の決済を確実に処理し、グループ会社間決済にかかるコストを排除することが可能になりました。統合石油会社である当社のグループ会社間決済の総額は1500億ドルを超えるため、このコスト削減効果は非常に大きいのです」
(Piet Lammens氏)

日次資金集中および会社間決済

Statoilグループにおける事業会社のすべての銀行口座残高は、取引銀行によって世界的なゼロ・バランスの処理がとられ、すべての資金は通貨ごとに毎日一口座に集約されます。これにより、財務部門による資金管理業務が容易になります。Statoil社は、mySAP Financial Service Providerのインハウスキャッシュ管理機能を利用して、毎朝銀行の口座明細書をインハウスキャッシュに転送し、資金集中データを処理しています。ゼロ・バランス取引は各国の事業会社の社内銀行口座に記帳されます。そして、グループ企業間の資金決済のため支払処理を実行します。

支払処理により作られた決済ファイルはインハウスキャッシュ管理システムに送られ、各企業の口座を更新します。これにより、Statoil社では事業会社間の資金決済を日次で処理することが可能となっています。決済処理明細は、締め処理後に口座取引明細書として各事業会社に送られるとともに、各社は口座取引明細をアップロードし総勘定元帳を更新します。

Statoil社のグループ資金決済部責任者である Johnny Hansen氏は、「いまでは社内銀行を通して決済取引のフローと各事業会社の貸借残高が把握できます。当社ではSAPソフトウェアを基幹業務システムとして利用し、多様なSAPコンポーネントを活用しています。社内の決済プロセスをSAP環境内だけで処理することによって、照合プロセスをコントロールすることが可能であり、社内決済の照合作業の完全な自動化も間近となっています」と述べています。

今後Statoil社では、SAP CFMの機能(信用リスク分析、ポートフォリオ分析、流動性計画)をSAPと協力しながら展開する予定です。

Statoil社の社内銀行ソリューション技術担当、Kristian Rygh氏は次のように語ります。「CFMに関するSAPと

の関係には非常に満足しています。SAPは顧客として当社をよく理解しているため、SAPと当社は顧客とサプライヤという関係ではなく、当社の目標実現に向けて全力を尽くす協力関係にあります。SAPは、我々の要求に対して鋭敏で、迅速に対応し、CFMに対する当社の要件を満足させてくれました」

「私たちは、CFMに関連するSAPとの関係に非常に満足しています。SAPは、当社を顧客として尊重してくれます。顧客/サプライヤの関係では無く、当社が目的を達成することに照準を合わせた関係を築いています。SAPは、我々の要求に対して鋭敏で、迅速に対応し、CFMに対する当社の要件を満足させてくれました」

Statoil会計担当Kristian Rygh氏

THE BEST-RUN BUSINESSES RUN SAP



SAPジャパン株式会社
〒100-0004
東京都千代田区
大手町1丁目7番2号
東京サンケイビル
TEL 03-3273-3333(代表)
FAX 03-3273-3339
<http://www.sap.co.jp/>